

然處近世寛文比、氏鄉名乘者有。略 中 四方ヲ遊歴シテ謂吾父祖前江州大守源氏綱ヨリ出、無紛佐  
佐木家正統也。僞自六角兵部號氏鄉名乘、剩佐々木六角家世系ヲ僞記、己ガ名其末書載、是云立テ  
諸侯ヘ仕シ事求、終僞事不可達ガ故、身ヲ售事不成シテ、幾許年月送空ス、然テ後晩年ニ到テ、京都  
僧房潜居、奴婢二三人ヲ仕テ、古家貴種人ノ世ニ落魄シテ沈淪タル眞似ヲシスマシ、私ニ中務大  
輔號、不識者欺レテ憐ヲ起シ、惠施者モ有、又識之者、爪彈ヲシテ是惡、或是笑嘲ル。略 中 元祿ノ初、終  
氏鄉房中病死ス、行年七十。略 中 氏鄉所記刊本、江源武鑑二十卷、大系圖三十卷、倭論語十卷、寫本淺  
井日記二卷、關原軍記六卷、勢州軍記二卷等、氏鄉所記也、大概彼書中、己ガ先祖ト稱スル者、事迹ヲ  
作テ、實ラシク書載置、是ヲ證據ニシテ、己ガ僞ヲ蔽隠サン爲也、不亦大奸乎、

〔大系圖評判遮中抄〕六角佐々木末流

建部賢明撰

凡大系圖冊ハ、佐々木ノ姦賊六角中務氏鄉ガ古傳ニ僞補スル所也、蓋此者ハ、本近江國ニテ、種姓  
モ知ザル凡下ノ土民也、父ハ澤田喜右衛門トテ。略 中 萬ヅ才覺有ケレバ、後ニ忍藏 武ノ縣令ト成  
サル、是ヨリ先キ本國ニ在シ時、同邑ノ百姓和田勘兵衛ガ娘ニ成トイヘル女ヲ娶テ子ヲ生ズ、其  
名ヲ喜太郎ト云フ、下種ノ子タリトイヘドモ、容貌自然ニ優ナリシカバ、稚ヨリ是ヲ青蓮院尊純  
法親王ニ奉テ禿童トナル。略 中 山伏ノ姿ト成テ、僞テ諱ノ字ヲ賜レリト云テ、名ヲ尊覺ト號ス、父  
甚ダ是ヲ責テ、速ニ其名ヲ改メシム、是ニ於テ還俗シテ澤田源内ト號シ。略 中 己レガ才智ヲ以テ  
卑賤ヲ蔽ヒ隱シ、貴族ト號シテ身ヲ立ント欲シ、竊ニ六角佐々木ノ正統ト稱シ、名ヲ近江右衛門  
義綱ト改メ、僞テ定賴朝臣ノ長子ニ大膳大夫義實ト云フ名ヲ作り、其子修理大夫義秀、其子右兵  
衛督義鄉三世ヲ、新ニ佐々木ノ系中ニ建テ己ガ父祖トシ、義賢朝臣承 祚ヲシテ、義秀ガ後見ナリト  
ス。略 中 承應二年比、源内江府ニ來テ、佐々木正統、近江右衛門義綱ト名乗リ、中山市正信正ニ屬シ  
テ、水戸侯頼房卿ニ奉仕セん事ヲ請ヒ、彼ノ僞譜ヲ獻ズ、卿即チ東叡山宿坊ノ吉祥院ノ沙門某ヲ